

支援養成講座について

ノートテイク講座（初級）

実際にノートテイクについてのノウハウを学び、ノートテイクガイドブックを配布します。

随時開催

パソコンノートテイク講座

ノートパソコンを使って、2人で連携入力することにより、手書きのノートテイクの何倍もの情報を伝えることができます。講座ではLANの接続方法・ソフトの使い方、連携入力の方法を学びます。

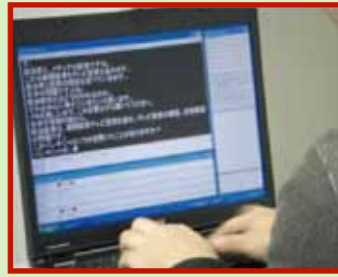
パソコンノートテイク練習会

講座で学んだ技術の向上を目指して、定期的にグループで練習をします。

随時開催

（PC講座の様子）

（PCテイクの画面）



手話の会

昼休みに日常で使う簡単な手話の学習をします。

毎週火曜日

（手話の会の様子）



文字起こし、ビデオ字幕付練習会

ビデオ教材に字幕を付ける方法を学びます。

文字起こし、ビデオ字幕制作を手伝って下さる方を常時募集しています!!興味のある方は一度、障がい学生支援室までお越しください。

随時開催

〔点字図書室〕

〔字幕付けの様子〕



その他外部より講師を招いて不定期にボランティアに関する講座を開きます。

支援学生募集!!

障がい学生支援室では支援学生を募集しています。

興味のある方は

下記まで是非ご連絡ください!

- ・ノートテイカー
- ・パソコンノートテイカー
- ・文字起こし、字幕付けスタッフ
- ・その他

ノートテイク、PCテイク、字幕付け、文字起こしには一定の技術、条件を満たした後、学生アルバイトとして、下記のアルバイト料を支払います。

学部生 800円/時間

院 生 900円/時間

京都精華大学 学生課 障がい学生支援室 (本館2階)

T E L 075-702-5268

F A X 075-702-5390

E - m a i l chall@kyoto-seika.ac.jp

開 室 時 間 平日 9:00~18:00

土曜 9:00~17:30

障がい学生支援の案内

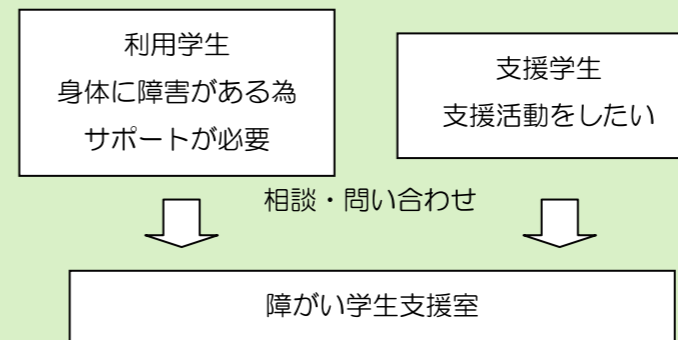


京都精華大学では、「障がい学生支援室」を中心に、障害のある学生への学生生活支援を行っています。

障がい学生支援室では、1年を通して支援スタッフの募集をしています。本学の学生が協力し、障害のある学生への授業内サポートをしています。皆さんもこの機会に大学の中で支援する立場になって活動してみませんか?

障がい学生支援室は障害のある学生のためだけではなく、支援してくれる学生のための相談窓口でもあります。障がい学生支援に関することやボランティア活動などに興味のある方は、お気軽に障がい学生支援室へお越しください。

支援制度開始までの流れ



利用学生には、(原則入学時まで)に学内での必要な支援について話し合い、支援の内容等を決定します。状況、必要に応じて面談の機会を持ち、適切な支援を考えます。支援学生には、支援養成講座を開講し、活動時間の調整を行います。

支援制度の利用開始
京都精華大学で定められた
支援制度の利用を開始

障がい学生支援内容について

・聴覚障がい学生には

- ① 1 講義 (90 分授業) にノートテイカー 2 名を配置
- ② パソコンテイク (PC を使用してノートテイク: より多くの情報が伝えられる)
- ③ ビデオ教材のビデオ字幕制作、またはビデオ音声の文字起こし
- ④ 演習科目には、本人の希望により、手話通訳者を 2 名配置
(現在、本学が依頼している手話通訳者は、都道府県等の手話通訳技能認定者)

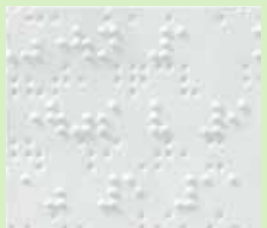
ノートテイカー(要約筆記通訳者)とは

聞こえない学生の耳の代わりとなり、授業の内容やその場で聞こえる音情報(教室内の雑音...チャイムの音・携帯の着信音など)を文字にして伝える筆記通訳者のことです。「速く」「正しく」「読みやすく」書き伝える技術を必要とします。

* 実際の授業では、利用学生(聴覚障がい学生)の両脇にノートテイカーが座り、交互にノートに書いて伝えます。

・視覚障がい学生(全盲)には

- ① 教科書・授業レジュメの点訳
- ② ガイドヘルプ
- ③ 学内の案内と移動介助
(入学当初)
- ④ 対面朗読
- ⑤ 代筆



(資料の点訳)

・視覚障がい学生(弱視)には

レジュメの拡大コピー

・内部障がい学生(ペースメーカー装着)には

電磁波による体への影響を配慮するため、携帯電話の扱いなど配慮事項の伝達

※上記以外にも肢体不自由など、様々な障害のある学生に対して必要に応じて相談し、支援を行っています。